

浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081

笠岡市笠岡2065

電話(0865)62-2623

FAX(0865)62-2595

振替01260-9-13760

<http://joshinji.suki-ari.net/>



久しぶりのサマースクール！

「み法を味わって」(四)

「一旦停止」

「一旦停止」という道路標識があります。これは、そこで車をとどめるのが目的ではありません。安全に、さらに先に進めさせるための手段です。

自分も他人も安全に、快適に過ごすための人生の一旦停止の標識を、あなたは見落としてはいないでしょうか。仕事、健康、感情、理性、家庭、社会、年齢などいろいろな曲がり角でちよつと立ち止まって、前後、左右、上下と自分自身をよくよく見直すことが大切です

あわてて飛び出すと、心も体も、立場も、人間関係もだめになってしまうような大事故につながります。しかし、一旦停止ですから止まったままでも、停止位置が手前過ぎても、だめです。そこが難しいのです。

人生の確実な前進のありかたを知ることが仏法を聞く意味です。一年の終わりに当たって、もう一度仏法に照らして自分をふりかえりましょう。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

報恩講法要

十二月二日(土) 十三時半より

ご講師 福山市山手町 正圓寺 石川 知全師

ごあんない

仏婦清掃奉仕

九月十日(日)朝
七時半より、仏婦
会員が集まり、本
堂や庫裏、境内の
清掃を行いました。



ごあんない

チャリティ
コンサート

11/19(日) 本堂にて
10:00~14:00



チョッ
一言

お寺の法座への
お参りの仕方

浄心寺では春秋の彼岸会、降誕
会、虫干し法要、お盆法要、報恩
講などの法座がありますが、初め
ての方のために、お参りの仕方を
説明したいと思います。

まず服装ですが、喪服ではなく
平服で結構です。ただし念珠と、
門徒式章をお持ちの方はお着けく
ださい。お経本は寺で準備します。
車でお越しの方は、境内にお停
めください。全て参拝者用です。
お寺に来られたらまず本堂内の

十一月十九日(日)十時から十四
時まで本堂にて、笠岡市に避難し
ているウクライナの親子を金銭的
に支援するためのコンサートが
開かれます。同日には笠市の寺め
ぐりやいちよう祭りも開催されま
す。当山のイチヨウも見頃?

クラシックからロッ
クまで、様々なジャン
ルのグループが登場。
境内ではスパイスカレ
ーやパン、コーヒーの
販売もあります。
お誘いあわせお越し
ください。



受付でお供えをします。のし袋の
「のし」は神道のものなので外し
ます。水引きの色に決まりはない
ので何色でもよいです。あるいは
無地の封筒でも構いません。表書
きには「お供え」と「氏名」をお
書きください。金額に決まりはあ
りません。数千円包まれる方が多
いです。このお供えは門信徒会の
会計に計上され、法座講師へのご
法札や法座運営費、あまれば門信
徒会の活動費に使わ
れます。
ご法話が終われば
法座は終了です。自
由にお帰りください。



『永代供養』と『永代経』

かで、その生き方は大きく違つて
くるのではないでしょうか。
浄土真宗では「お寺で永代供養
する」とはいわず、「永代経をお
さめる」といいます。表現もさる
ことながら、考え方が全く正反対
のものなのです。

「供養」とは「供物を捧げるこ
とにより敬意を表すこと」で、故
人に何かしてあげる、という意味
合いの強いものです。「永代供養」
は「永代にわたり故人のために読
経する」という意味になります。

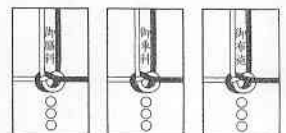
対して「永代経」は「永代にわ
たつて教え(経)が伝わるように
寺院を護持する」という意味で使
います。ここには、残った人が教
えをしっかりと聴いてほしい、と
いう願いがこもっています。

そもそも仏教は生きている者の
ための教えです。お経(教え)は
生きている者が聞いてこそ意味の
あるものなのです。

『お布施の渡し方』

仏事の際には僧侶にお布施を、
場合によってはお車料やお膳料を
渡します。その際の表書きは「御
布施」「御車料」「御膳料」とし、
下に施主の氏名を書きます。

お布施は寺院の護
持のためであり、僧
侶の労働報酬ではな
いので、「御経料」「回
向料」「供養料」「御経
志」「薄謝」等とは書
きません。



袋や封は市販、手製を問いませ
ん。市販のものには右肩に熨斗(の
し)がついているものが多いです
が、熨斗は仏教のものではありま
せんので、取り外します。

水引については特に決まりはな
いので、色は状況に応じた感情で
選ぶとよいでしょう。水引がなく
ても全く問題ありません。

本来は、法要の前に寺院に向
き、ご本尊にお供えしてもらつも
のですが、最近では法事終了後に
渡すことが増えました。その際は
「おことづけして申し訳ありませ
んが」と一言添えるとういでしょう。
う。あくまでもご本尊へ(寺院護
持のため)のお供えです。

やさしい仏教講座

令和6年の予定

第24回	2月5日(月)
第25回	4月10日(水)
第26回	6月11日(火)
第27回	8月24日(土)
第28回	10月3日(木)
第29回	12月12日(木)

門信徒の広場

地区委員さん登場



向吉浜地区
佐藤 琢夫 さん

向吉浜西地区はJR山陽本線より北の山々の麓に広がる吉浜新田北側の自然豊かな田園地域です。

佐藤さんは笠岡市中央町に居住され、市内小学校で校長を務めておられます。地区委員はお父さんの時からで、平成30年にご往生

の後はお母さんが引き継ぎ、現在はその代理として同地区の3戸を担当してくださっています。

休日には吉浜の実家に帰り庭木や草花の世話をし、時には田畑の草刈を行うなど、周囲の方々に迷惑が掛からない程度の環境整備に努めているとの事でした。

委員としての今後の目標については、地元の3戸と連携を取り協力しながら、門信徒会の発展のために、できることを行い、積極的に寄与していきたいとのことです。

(高田泰紀記)

サマースクール開催!



七月二十一日、サマースクールを開催。令和元年以来の久々の開催に、

五十九名もの小学生が集まりました。三次市善徳寺の長谷川憲章先生と庄原市正専寺の小滝世雄先生が来てくださいました。

十時に開会式の後、六班に分かれて買い出しに。くん製の食材として、ソーセージ、ちくわ、ベーコン、チーズ、マッシュマロなど思い思いの食材を買い、境内で半日かけてくん製にしました。

昼食後は「てらリンピック」。ゲームで班ごとに得点を競いました。榎平一平さん提供の昔の短編映画「舌切り雀」と「幌馬車」も

地区委員さんの交代

吉浜南地区

(前) 北川嗣雄さん
(新) 田片保孝さん

北川さんには平成三十年よりお世話になってきましたが、ご都合により退任されることになりました。これまでありがとうございました。後任は田片さんに受けていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。



鑑賞。

夕食後にはくん製を試食。その後、キャンプファイヤー。暗いお寺の境内で焚き火をたいて歌を歌ったりゲームをしました。最後に花火をしてから、閉会式、解散。

子供たちは盛りだくさんの一日に興奮さめやらず帰途に。夜はぐっすり眠れたことでしょう。

なお、子供たちの食事やおやつは、仏教婦人会の方々が調理してくださいました。

還 浄 (げんじょう) (敬称略)

次の方々が往生の素懷を遂げられました。哀悼の意を表します。

赤田	田林	福家	宮武	三宅	原田	山名	赤田	佐藤	北原	笠原	中村	篠原	溝口	三谷	高田	小林	藤井	高橋	藤井	川上	見平	西	藤井	榎	前原	藤本	藤井
藤子	一雄	年明	力子	明良	久子	照知	禮子	八二三	征美	圭造	忠	勇造	豊	克輔	信也	好恵	ヨシ子	恵美子	正子	澄子	英次	蓮枝	米子	和男	繫子	ケサミ	昭
10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6
8	6	4	30	26	24	24	14	12	4	1	30	29	28	26	20	15	8	8	4	23	22	16	15	9	4	27	26
95	65	94	94	55	89	68	94	98	84	53	76	99	93	91	78	60	87	97	77	95	74	101	102	77	90	91	94
生江	田頭	大磯	旭が丘	向吉浜	鴨方町	富岡	住吉	殿川	鴨方町	追分	城見台	中央町	福山市	三番町	横濱市	倉敷市	西大島	浜田	大門町	鴨方町	福山市	里庄町	里庄町	大門町	大久保	金光町	四番町

備後教区

親鸞聖人讃仰のつどい



九月十六日午後、福山リーディングにて開催されました。

当寺からは藤井祐三さん、石井

中組
お
き
め
ぐ
り

秋らしい天候の中、第八期連続研修会「備中里組おきめぐり」が十月三日、浄心寺にて開催されました。今期の参加者は十七名、今回はそのうち十二名と、門徒推進員、僧侶の合計十八名が当寺を訪れました。

正信偈をおつとめの後、住職が当山の沿革を説明。その後、礼拝堂に移動してお茶の接待があり、歓談しながら聚園などを見学。

利忠さん、前任職が参加。

おつとめの後には、岡山龍谷高のチアリーダーや太鼓、仏教系アイドルのナムナムガールズの出し物、セッポーCCQによる漫才話がありました。

「もつと身近に仏教を！」というテーマ通り、斬新な出し物が次々とあり、楽しいつどいとなりました。



その後住職より、「浄土真宗のみ教えとは」と題し、プロジェクトを使って、これまでのお説教とは違った角度から、浄土真宗の教義の核心についての説明がありました。参加者からの質問も多く出るなど活発な研修となり、新鮮でした、という声が聞かれました。最期に「真宗宗歌」を斉唱して解散となりました。

今期から、いわゆる勉強会ではなく、寺院参拝の気分が味わえる研修となっており、一同楽しい時間を過ごしました。

『白蓮華』

正信偈の「一切善悪凡夫人、聞信如来弘誓願、仏言広大勝解者、是人名分陀利華」についてみていきました。その意は「善人、悪人、普通の人、あらゆる人、誰であれ、阿弥陀さまの広い願いを聞いて信じれば、お釈迦さまは「この人は広大ですぐれた教えを理解した者だ」とおっしゃって、この人を『白い蓮華』だとほめてくださる」。

ここに出る「阿弥陀さまの願い」とは何かというところ、すべての者を救いたいのです。

そのために阿弥陀さまは何をしたかというところ、極楽浄土を創ったのです。その結果、願いは叶い、極楽の存在が私たちの心の救いとなりました。

この願い（本願）は、原語では「過去の願い」です。願いはすでに成就しているからこそ、過去のもののなのです。だから「阿弥陀さまのはたらき（願い）が今私たちに至り届いている」というよりは、「阿弥陀さまの願いが成就し、その結果としての極楽の存在が、救いの拠り所となっている」のです。

『人生のゴール』

笠岡の太陽の広場には自転車競技BMXのコースがいくつかあります。

その中に「人生コース」があり、ゴールには「人生コースGOAL」という看板があります。これって死ぬこと？死に向かって懸命に競うなんて、とちよつとドキッとす



る方もおられるかもしれません。しかしよく考えてください。私たちは生まれた瞬間から死に向かって進み続けているのです。

そこで私たちの教えを思い出してください。浄土真宗では死は悲しいものではなく、むしろ新しい世界への誕生であります。私たちは光あふれる阿弥陀さまの国に生まれてゆくのです。そこでは多くの方々が待っていてくださいますし、残った人も後から来てくれる場所です。

私たちはこの場所の存在を信じて、不安をなくし、今をしっかりと生きてゆくのです。死んで終わりののか、新しい始まりと考える

やさしい仏教講座

第22回 10月10日(まとめ)

仏婦清掃奉仕

九月十日(日)朝

七時半より、仏婦会員が集まり、本堂や庫裏、境内の清掃を行いました。



ごあんない

チャリティコンサート

11/19(日) 本堂にて
10:00~14:00



十一月十九日(日)十時から十四時まで本堂にて、笠岡市に避難しているウクライナの親子を金銭的に支援するためのコンサートが開かれます。同日には笠市の寺めぐりやいちよう祭りも開催されます。当山のイチヨウも見頃？クラシックからロックまで、様々なジャンルのグループが登場。境内ではスパイスカレーやパン、コーヒートの販売もあります。お誘いあわせお越しください。



ト音
チョー

お寺の法座への お参りの仕方

浄心寺では春秋の彼岸会、降誕会、虫干し法要、お盆法要、報恩講などの法座がありますが、初めての方のために、お参りの仕方を説明したいと思います。

まず服装ですが、喪服ではなく平服で結構です。ただし念珠と、門徒式章をお持ちの方はお着けください。お経本は寺で準備します。

車でお越しの方は、境内にお停めください。全て参拝者用です。お寺に來られたらまず本堂内の

受付でお供えをします。のし袋の「のし」は神道のものなので外します。水引きの色に決まりはないので何色でもよいです。あるいは無地の封筒でも構いません。表書きには「お供え」と「氏名」をお書きください。金額に決まりはありません。数千円包まれる方が多いです。このお供えは門信徒会の会計に計上され、法座講師へのご法札や法座運営費、あまれば門信徒会の活動費に使われます。

ご法話が終われば法座は終了です。自由にお帰りください。



『永代供養』と『永代経』

かで、その生き方は大きく違ってくるのではないだろうか。浄土真宗では「お寺で永代供養する」とはいわず、「永代経をおさめる」といいます。表現もさることながら、考え方が全く正反対のものなのです。

「供養」とは「供物を捧げることにより敬意を表すこと」で、故人に何かしてあげる、という意味合いの強いものです。「永代供養」は「永代にわたり故人のために読経する」という意味になります。

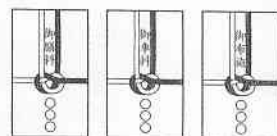
対して「永代経」は「永代にわたって教え(経)が伝わるように寺院を護持する」という意味で使います。ここには、残った人が教えをしっかりと聴いてほしい、という願いがこもっています。

そもそも仏教は生きている者のための教えです。お経(教え)は生きている者が聞いてこそ意味のあるものなのです。

『お布施の渡し方』

仏事の際には僧侶にお布施を、場合によってはお車料やお膳料を渡します。その際の表書きは「御布施」「御車料」「御膳料」とし、下に施主の氏名を書きます。

お布施は寺院の護持のためであり、僧侶の労働報酬ではないので、「御経料」「回向料」「供養料」「御経志」「薄謝」等とは書きません。



袋や封は市販、手製を問いません。市販のものには右肩に熨斗(のし)がついているものが多いですが、熨斗は仏教のものではありませんので、取り外します。

水引については特に決まりはないので、色は状況に応じた感情で選ぶとよいでしょう。水引がなくとも全く問題ありません。

本来は、法要の前に寺院に向き、ご本尊にお供えしてもらうものですが、最近では法事終了後に渡すことが増えました。その際は「おことづけして申し訳ありませんが」と一言添えるとよいでしょう。あくまでもご本尊へ(寺院護持のため)のお供えです。

やさしい仏教講座

令和6年の予定

第24回	2月5日(月)
第25回	4月10日(水)
第26回	6月11日(火)
第27回	8月24日(土)
第28回	10月3日(木)
第29回	12月12日(木)

笠岡を歩く

歴史散歩(2)

長安主一

津田白印顕彰碑(2)

「白印」文久二(一八六二)年、昭和二十一(一九四六)年。社会事業家、教育者、僧侶、南画家。幼名は峯丸、俗名は津田明導。もっぱら白印、白道人と号したが、吸江山人、甘露窟主人とも称した。笠岡市浜田の浄土真宗本願寺派、法性山浄心寺住職津田明海の次男に生まれる。豊前国で仏教学や漢学を修めるか



甘露育児院跡

たわら、成富椿屋(なりとみちんお)について南画を学ぶ。その後、奈良監獄の教誨師となり、少年囚徒の教育を担当。彼らの社会環境を知るにつれ、慈善事業家になろうと決意、明治三十三(一九〇〇)年、孤児収容施設の甘露育児院を富岡の本林寺に設立、無縁の孤児を収容して養育した。

育児院はのちに浄心寺に移るが、経営は困難で自らの画筆で経費を作り、浄財の寄付で院を運営した。育児院は大正十三(一九二四)年三月まで続いたが、その前に私立淳和女学校(現岡山龍谷

高校)を併設。自ら校長となって女子教育に当たった。私学の経営も困難を極めたが、自らの画料を学校の経費に投じて、維持発展に努めた。

幅広い学識と無欲恬淡(てんた)んな人柄にもとづいた作品は、高い品格とともに自由闊達な趣を備えている。とくに花卉図(かきず)や山水画に文人画家としての真価を発揮した。

昭和二十一年往生。墓碑は生家、浄心寺にある。

富岡の本林寺跡地には、甘露育児院跡の石碑がある。



報恩講のお斎再開



コロナ禍で中止していました報恩講でのお斎(とき)ですが、今年は十二月二日(土)正午より聚園(和室)にて、婦人会の方によるお弁当を食べていただけます。

申し込みは不要ですので、お誘いあわせの上、ご同席ください。また、引き続き午後の報恩講法要にご参拝ください。

新春のつどい



一月十九日(金)正午よりこちらも再開します。文化等同好会の箏の弾き初めにはじまり、カラオケや飛び入りの出し物等、それぞれの得意芸が披露されます。

恥ずかしがり屋の方は見物を十分に楽しんでください。どうぞお誘いあわせ、ご参加ください。申込締切りは一月十四日。

令和6年(2024年)年回表

年回忌	往生年	主な出来事
1周忌	令和5年	大谷翔平選手大活躍。ホームラン44本。
3回忌	令和4年	安部元首相、狙撃され死亡。
7回忌	平成30年	西日本豪雨、死者220人超。
13回忌	平成24年	山中信弥教授にノーベル医学生理学賞。
17回忌	平成20年	有珠山と三宅島が噴火、鳥取西部大地震。
25回忌	平成12年	東海道新幹線で「のぞみ」運転開始。
33回忌	平成4年	100歳を迎えたきんさん、ぎんさんがブームとなる。
50回忌	昭和50年	山陽新幹線、岡山一博多間開業。

礼拝堂の改修工事終わる

七月から取りかかっておりました礼拝堂の改修工事が、八月十九日に終了しました。

これまでは礼拝堂の二面が全面ガラスサッシだったため、夏の冷房、冬の暖房がともに効きにくくなっていました。このたびガラスをすべて二重のものに替え、床面も新たに張り直しました。

最近では、礼拝堂はさまざまな行事や法事で頻繁に使用するようになっており、改修が急がれていました。今後はより快適にお使いいただけることになりました。



編集後記

朝夕めつきり冷え込む季節になりました。

七月の虫干し法座、サマースクールの再開、盂蘭盆会、秋季彼岸会永代経法要等のご報告、本年の報恩講法要、やさしい仏教講座、除夜会等をご案内する第一四五号をお届けいたします。

寒さに向かう折柄、くれぐれもご自愛のほど。編集委員 釋賢大